

## 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
川場村	天神地区(天神)		—

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	37.0ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	28.3ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	6.0ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.8ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	2.5ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

- (1)水田利用のほか、主に、こんにゃく、飼料用作物が作付けされており、今後、中心経営体の引受意向面積は、現状より増える見込みだが、兼業農家や小規模農家による耕作地も多く、高齢化・農業後継者不足により、耕作されない農地が将来的に増加することが予想される。
- (2)土地改良事業実施地も多いことから、中心経営体が担うためには、分散した農地をより集約化し、耕作の効率化を図る必要がある。
- (3)特に山際は、サル・イノシシ・シカ・クマなどの有害鳥獣被害が年々深刻となっており、対策を講じる必要がある。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

水田利用は、認定農業者8経営体が担っていく。

畑利用は、認定農業者11経営体と農業法人2社が担っていく。

入作を希望する認定農業者や認定新規就農者など担い手の受け入れも検討する。

(参考) 中心経営体 別紙のとおり

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

## 【農地中間管理機構の活用方針】

耕作が難しくなった場合は中心経営体へ貸し出してもらえよう周知をするとともに、農業委員、農地利用最適化推進委員と連携し、農地所有者の意向を把握するなど農地の利用調整を図る。

併せて、耕作の効率化を図るため、分散している農地の集約化について検討していく。

## 【鳥獣被害防止対策への取組方針】

鳥獣による農作物の被害が多いことから、捕獲檻や侵入防止柵等の設置など検討をしていく。

## (参考) 中心経営体

No.	地区	属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向	
				経営作目	経営面積	経営作目	経営面積
4-4	天神	認農	認定農業者4	水稲、コンニャク、トウモロコシ	0.2 ha	水稲、コンニャク、トウモロコシ	0.2 ha
8	天神	認農	認定農業者8	水稲、ブドウ、モモ	1.1 ha	水稲、ブドウ、モモ	1.1 ha
13-2	天神	認農	認定農業者13	水稲、キュウリ	0.8 ha	水稲、キュウリ	0.8 ha
21-7	天神	認農	認定農業者21	水稲、露地野菜	0.0 ha	水稲、露地野菜	1.0 ha
23-4	天神	認農	認定農業者23	水稲、露地野菜	0.1 ha	水稲、露地野菜	0.1 ha
25-4	天神	認農	認定農業法人25	コンニャク	0.1 ha	コンニャク	1.1 ha
29-2	天神	認農	認定農業法人29	コンニャク、ブドウ	0.9 ha	コンニャク、ブドウ	0.9 ha
42-2	天神	認農	認定農業者42	コンニャク、水稲、ブドウ	0.3 ha	コンニャク、水稲、ブドウ	0.3 ha
43-6	天神	認農	認定農業者43	コンニャク	0.5 ha	コンニャク	0.5 ha
51-3	天神	認農	認定農業者51	水稲、コンニャク	2.3 ha	水稲、コンニャク	2.8 ha
53-2	天神	認農	認定農業者53	コンニャク	0.6 ha	コンニャク	0.6 ha
59-2	天神	認農	認定農業者59	水稲、果樹、露地野菜、花卉	0.2 ha	水稲、果樹、露地野菜、花卉	0.2 ha
65-4	天神	認農	認定農業者65	酪農、飼料作物	0.3 ha	酪農、飼料作物	0.3 ha
		計	13 経営体		7.4 ha		9.9 ha